

こんなん しています。

わだいとまわり

丹波の大江山

もうすぐ節分。豆で追われる鬼とは一体何者でしょうか。

神社研究で京都府北部の丹後半島エリアを調査していますが、地図情報を整理しながら共同研究者が叫びました。

「すげえ、鬼だらけや」。福知山市の北端、大江山は鬼の字がつく史跡や神社があちこちにある鬼の町でした。

むかし丹波の大江山鬼ども多くこもりて都に出ては人を食い！と歌われる大江山は旧丹後国と丹波国の境に位置

する峰々からなる連山。歌の続ぎには「酒呑童子（しゅてんどうじ）を頭に

舞えよ歌えの大騒ぎ」と、大酒飲み酒呑童子ら鬼の棲家の様子が歌われています。

大江山は古事記の昔から鬼退治で有名な所で、先の童謡は平安中期、都の姫を奪い悪事の数々を行う酒呑童子を勅命を受けた源頼光が征伐したという酒呑童子伝説です。

征伐に選ばれた勇士の一人が坂田金時。幼名はあ金の太郎。まさかり（大斧）担ぎひし形の腹掛け姿で元気な5月人形のモ

山 む 棲 の 鬼

デルである金太郎です。大江山は鉾山でした。

ニッケルを採掘した大江山鉾山をはじめ、周辺には銅、亜鉛、硫化鉄などの鉾山跡が散在し、地質調査資料（S40）による

と大江山を中心とした約20キロ四方に14の鉾山を数えることができます。その多くは零細な鉾床で

先の戦争中までは採掘に励んだようです。大江山中腹の北原集落

では古くに製鉄が行われ

ており、夜空を焦がす夕

タラの炎を村人が恐れ魔の谷と呼んだとの伝承があります。夕タラは鬼を象徴した炎だったので

ようか。大江山は修験道の霊山でもあります。修験者は鉾脈を探索する高度な金属技術集団でもあったといわれています。

鬼は何者

鬼とは恐ろしい怪物、妖怪、地獄の門番、怨霊の化身、異形の外来者、山の神など

色々な鬼がありま

力者にとつては不都合な存在の「鬼」

悪として位置づけられたのではないでしようか。

鬼伝説の地は鉾山地であることが多く、鬼は鉾山

採掘や金属製造に関わる職人だったとの説があり、高度な技術を持った

大陸からの渡来人だったとの説もあります。

和歌山県には一つ目一本足の妖怪、一本だたらの伝説があります。ひとつだけ、鬼などとも呼ばれ類似伝説は県内にいくつもあり、悪事を働く那智山中の妖怪の場合

は数多くの鉾山があり色川は70年代まで銅鉾山で栄えました。



まさかりを持った金太郎

日本神話における鍛冶の神様は天目一箇神（あめのまひとつのかみ）で片目の神です。一本だたらはたたら製鉄に通じ、単眼でもありこの神の落ちぶれた姿であるともいわれています。いずれも確証はないものの、鬼の征伐伝説は鉾物資源の争奪と関わり、人を脅かし恐れ遠ざける鬼伝説の裏には権益の争いが隠れていた。興味が深まる一方で。

湯崎真梨子（ゆざき まりこ）

和歌山大学食農総合研究教育センター客員教授

元和歌山大学教授、博士(学術)。専門は農村社会学、地域再生学。自らの研究に加え、地域と協働するプロジェクト研究をマネジメントしている。



プロフィール